

- ◎向日市民憲章◎
- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
 - 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
 - 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
 - 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
 - 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

分別収集スタート



ゴミ減量のため 向日台団地をモデル地区に

わたし達が生活を営む中で必然的に出てくるゴミ。その量は年々増える一方で、このため、特に不燃物ゴミを処理する現在の埋立地は限界に達し、今回新しくこれにかわる用地を確保してきたものの、近隣住民の方に迷惑をかけないように、持ち込むゴミの徹底した分別と減量を、真剣に考えなければなりません。市では、これに対処するため、八月五日、向日台団地をモデル地区に、不燃物ゴミの分別収集を実施し、今年中に本市全域実施に向けてのスタートをまきました。

ゴミ減量と再資源化の初の試みとして向日台で行ったこの分別収集、同自治会役員の方々の協力のもと、団地内3か所に設けられたゴミステーションでは、職員がつきっきりで指導。午前七時半には民秋市長もかけつけ、各ステーションの状況を真剣に何回も見てまわりました。この日出されたゴミの総量は、六百九十二キログラム。このうち埋立分は、七十三・五キログラムと今までの九割減で、ゴミ減量運動の順調なスタートとなりました。

この分別収集とは、不燃物ゴミの中から再資源化できるものと、そうでないものを六種類に分けて出し、再資源化できるものは廃品回収業者に売却、資源化できない物は埋立処分というものです。

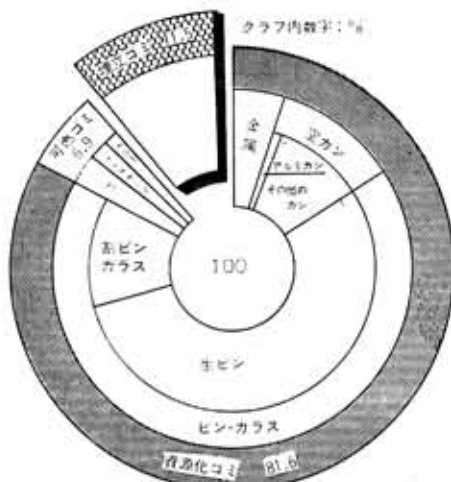
向日市のように市域が極端に狭く、全域に住宅が密集している現状では、市域内にゴミ処理場をつくることは不可能に近く、昭和三十九年以來向日市、長岡京市、大山崎町で組織する乙訓環境衛生組合(大山崎町下植野)にその処理処分を

今年中には全域で実施



山のように積み込まれる大型ゴミ

奥様「もったいないない」
ちよっと手を加えれば



△別表▽ 不燃物ゴミ分別調査結果

ゆだねてきました。しかし、年々増え続けるゴミに、この処理場も限界に達し、新しく長岡京市勝竜寺地区に、土地所有者、地域住民の方々のご理解とご協力によって四万二千平方メートルの土地を、可燃物の残灰と不燃物の埋立用

地として確保しました。このように、ゴミ問題は二市一町共同で処理し、しかもその処理場は、大山崎町、長岡京市にお願いして迷惑をおかけしているのが実情で、本市だけが安閑としていては、絶対に許されることはありません。

市では、八月二日・四日・九日・十一日までの六日間、にわたり大型ゴミの無料収集を実施しました。

これは生活様式の向上にともなう、多様化してきている家庭ゴミの処理に対応するために、毎年一回実施しているものです。

収集日には、今まで各家で処分していたテレビ、冷蔵庫、ステレオ、タミなどが集積所にドツ

大型ゴミを無料で収集

と出され、二トン積の収集トラックも五、六か所もまわればすぐ満杯。二日から四日までの三日間だけで、五十トンのゴミが処理場へ。

出されたゴミの中には、まだまだ使えそうな物や、ちよっと手を加えれば、といったような物が多く見受けられ、「もったいない」と思うこともしばしば。まだ使い捨て時代の余韻が残っているのでしょうか。

ゴミの埋立地確保が非常に難しくなっている今日、市民のみならず、物を大切に使用していただいで、ゴミ減量にご協力ください。

分別収集を本市で最初に経験した向日台のお母さん方に、その感想をお聞きしました。

◆埋立地確保が困難だとわかってはいるけれど、長い目でみれば必要なことだと思おう
F・Nさん

◆燃えないゴミの中に、たくさん燃える埋立ゴミの減量を真剣に考えなければなりません。市では、今年二月に二市一町共同で、各家庭から排出される不燃物ゴミの分別調査をしました。

その結果、この不燃物ゴミの中には、約八二パーセントにのぼる有価物があり、また燃えるゴミとして焼却できるものが含まれていました。(別表参照)これをこのまま埋立ゴミとしていでは、土地がいくらあっても足りません。

五日の向日台での試みは市民のみならず市とが一体となって、積極的にゴミの減量運動を展開していくための第一歩です。

市では、今回の大きな成果をもとに、徹底したゴミ減量と社会資源確保をめざし、今年中には、向日市全

域での分別収集を実施するため、市民のみならずのご理解とご協力の中で、準備を進めていきます。

みなさんの実践的な参加と、次のことにご留意くださるようお願いいたします。

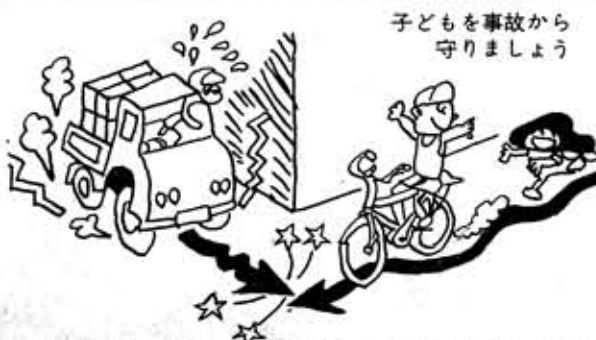
こうすれば減量が
◆古新聞、雑誌、広告チラシなどはまとめておいて紙交換などへ。
◆買物をするとき過剰包装を拒否しましょう。
◆料理の材料はムダなく使い、料理はきれいに食べましょう。
◆アキビンは買ったお店で引取ってもらいましょう。
◆ものはいままで大切に使いましょう。
◆紙一枚でもバカにできません。あなたが一枚捨てる市全体で五万枚にも

分別収集を体験して
お母さん達の感想は

◆ゴミを出す場所が少し遠くなったが、そんなにわずらわしいとは思わない。
M・Tさん

◆必要なことだと思おうが、分類が少し難しいように思う。
S・Kさん

子どもを水の事故から守ろう



子どもを事故から守りましょう

●こどものいのちを守る運動●

夏休みもあとわずかになりました。お宅のお子さんは元気で過ごされていますか。子どもたちにとって楽しい夏休みもそのカゲにはこわい水の事故や交通事故がひそんでいます。

子どもたちが夏休みを楽しく安全に過ごせるよう、お母さん、お父さんは子どもの行動に充分注意してあげてください



危い！池での水あそび